

プロポーザル方式評価基準

1 企業の実績

評価項目	評価の着眼点	判断基準	配点
企業の実績 10 点	(1) 業務遂行企画力	(ア) 過去 5 年間に同種業務の実績が 3 件以上ある場合	5 点
		(イ) 過去 5 年間に同種業務の実績が 1 件以上又は類似業務の実績が 2 件以上ある場合	3 点
		(ウ) 上記ア及びイに該当しない場合	0 点
		得点	／ 5 点
		【備考】 ① 同種業務：国、都道府県、市町村、公団その他の公共的団体が発注した「道の駅」の整備に係る設計業務。 ② 類似業務：①に準ずると判断できる施設（道路休憩施設、観光レクリエーション施設、農林水産物販売施設等）に係る設計業務。	
	(2) 当該地域における業務実績	(ア) 山田町内において業務の実績がある場合	5 点
		(イ) 岩手県内において業務の実績がある場合	3 点
		(ウ) 上記ア及びイに該当しない場合	0 点
		得点	／ 5 点
		【備考】 ① 国、都道府県、市町村、公団その他の公共的団体が発注した業務を評価の対象とし、業務の種別は指定しない。	
	合計		／ 10 点

2 配置技術者の技術力

評価項目	評価の着眼点	判断基準	配点
配置技術者の実績等	(1) 技術者資格	(ア) 技術士資格を有する場合	5 点
		(イ) R C C M資格を有する場合	3 点
		(ウ) 上記ア及びイに該当しない場合	0 点

25 点		得点	／ 5 点
		【備考】 ① 技術士：技術士法に基づく技術士資格（建設部門：都市及び地方計画）を有すること。 ② R C C M：R C C M資格（都市計画及び地方計画部門）を有すること。	
	(2) 技術研鑽 ^{さん} への取組	(ア) C P D制度に継続参加中である場合	5 点
		(イ) 上記に該当しない場合	0 点
		得点	／ 5 点
		【備考】	
	(3) 実務実績	(ア) 過去 10 年間に同種業務の実績がある場合	5 点
		(イ) 過去 10 年間に類似業務の実績がある場合	3 点
		(ウ) 上記ア及びイに該当しない場合	0 点
		得点	／ 5 点
		【備考】 ① 国、都道府県、市町村、公団その他の公共的団体が発注した業務の実績を評価の対象とする。 ② 評価に当たっては、同種業務の実績を優先する。	
	(4) 地域精通度	(ア) 山田町内において業務の実績がある場合	5 点
		(イ) 岩手県内において業務の実績がある場合	3 点
		(ウ) 上記ア及びイに該当しない場合	0 点
		得点	／ 5 点
		【備考】 ① 国、都道府県、市町村、公団その他の公共的団体が発注した業務を評価の対象とし、業務の種別は指定しない。	
	(5) 当該業務への専任状況	(ア) 当該業務に専任できる場合	5 点
		(イ) 上記に該当しない場合	0 点
		得点	／ 5 点
		【備考】	
	合計		／ 25 点

注 配置技術者が複数となる場合は、主たる者を評価対象とすること。

3 業務実施方針

評価項目	評価の着眼点	判断基準	配点
業務実施方針 30 点	(1) 業務の内容の理解度	(ア) 目的、条件及び内容の理解度が 高く、簡潔に記載されていると認 められる場合	10 点
		(イ) 上記に比べてやや内容に不足が ある場合	6 点
		(ウ) 上記ア及びイに該当しない場合	0 点
		得点	／10 点
		【備考】	
	(2) 実施手順	(ア) 業務の実実施手順等の妥当性が高 い場合	10 点
		(イ) 上記に比べて実施手順等の内容 にやや不足がある場合	6 点
		(ウ) 上記ア及びイに該当しない場合	0 点
		得点	／10 点
		【備考】	
	(3) 工程の妥当性	(ア) 各工程で想定される業務量が工 程に反映され、実施手順と工程計 画に整合が確認できる場合	10 点
		(イ) 実施手順との整合が認められる 場合	6 点
		(ウ) 上記ア及びイに該当しない場合	0 点
		得点	／10 点
		【備考】	
	合計		／30 点

4 特定テーマに対する提案

評価項目	評価の着眼点	判断基準	配点
特定テーマに 対する提案 45 点	(1) 的確性 ア 与条件の理解 度	(ア) 地形、環境、地域特性等の与条 件の理解度が高く、課題の解決方 法について十分に確認できる場合	5 点
		(イ) 上記に比べてやや内容に不足が ある場合	3 点
		(ウ) 上記ア及びイに該当しない場合	0 点
		得点	／5 点
		【備考】	

	イ 提案	(ア) 提案において、当該業務に必要な事項等が確認でき、特定テーマに相応しい内容である場合	15 点
		(イ) 上記に比べてやや内容に不足がある場合	10 点
		(ウ) 上記ア及びイに該当しない場合	0 点
		得点	／15 点
		【備考】	
	(2) 実現性 ア 実現の可能性	(ア) 提案の内容からその提案の実現の可能性が高いと認められる場合	15 点
		(イ) 上記に比べて提案の内容にやや不足がある場合	10 点
		(ウ) 上記ア及びイに該当しない場合	0 点
		得点	／15 点
		【備考】	
	イ 裏付けとなる業務の実績の有無	(ア) 当該法人若しくは個人又は当該業務の配置技術者の業務の実績に提案の実現を裏付ける実績が確認できる場合	5 点
		(イ) 上記に該当しない場合	0 点
		得点	／5 点
		【備考】	
	(3) 独創性	(ア) 前例のない提案、独創的な提案である場合	5 点
		(イ) 上記に比べてやや独創性等に欠ける場合	3 点
		(ウ) 上記に該当しない場合	0 点
		得点	／5 点
		【備考】	
	合計		／45 点

5 ヒアリング

評価項目	評価の着眼点	判断基準	配点
ヒアリング 20 点	(1) 専門技術力	(ア) 説明が提案書の内容を補完しており、専門技術を十分に発揮できると認められる場合	10 点
		(イ) 提案書の内容は十分であるが、説明が不十分な場合	6 点

		(ウ) 上記ア及びイに該当しない場合	0 点
		得点	/10 点
	(2) 取組姿勢	(ア) 取組意欲が強く感じられる場合	5 点
		(イ) 上記に該当しない場合	0 点
		得点	/5 点
	(3) コミュニケーション力	(ア) 質問に対する応答が明快かつ迅速な場合	5 点
		(イ) 上記に該当しない場合	0 点
		得点	/5 点
		合計	/20 点

6 参考見積り

評価項目	評価の着眼点	判断基準	配点
参考見積り 20 点	(1) 業務コストの妥当性	(ア) 参考見積りの額が、当該業務の内容、規模等に対して十分満足できる金額の場合	20 点
		(イ) 参考見積りの額が、当該業務の内容、規模等に対して平均的な金額の場合	10 点
		(ウ) 参考見積りの額が、予算上限額をオーバーする場合	0 点
		得点	/20 点

合計 150 点